

柏崎市人権映画上映会

上映作品

破戒

とき 令和5（2023）

11月5日（日）

午後1時30分～午後4時
（開場 午後1時）

ところ

柏崎市産業文化会館 文化ホール

柏崎市駅前2-2-45

駐車場が満車の場合、駅前ふれあい広場
駐車場(有料)をご利用ください。

定員

400人（先着）

整理券配布場所

市役所1F総合受付、市民プラザ、
ソフィアセンター、産業文化会館、
文化会館アルフォーレ

お問い合わせ先

柏崎市人権啓発・男女共同参画室

電話 0257-20-7605

FAX 0257-22-5904

E-mail danjo@city.kashiwazaki.lg.jp



(C)全国水平社創立100周年記念映画製作委員会

日本語字幕
付き

入場無料

入場整理券をお求
めください

【事業の概要】

市では、差別や人権課題を解消することを目的に第二次人権教育・啓発推進計画を策定し、人権尊重が当たり前の地域社会の実現を目指しています。その一環として、人権映画上映会を実施します。この映画「破戒」を通して部落差別について理解し、人権意識を高め、さまざまな人権課題について考える機会とします。

映画「破戒」

◆作品の紹介◆

上映作品「破戒」2022年公開 119分（日本語字幕付き）

監督 前田和男

出演 間宮祥太郎、石井杏奈、矢本悠馬 ほか



◆ストーリー◆ この戒めを破り、明日を生きる

瀬川丑松（間宮祥太郎）は、自分が被差別部落出身ということ隠して、地元を離れ、ある小学校の教員として奉職する。彼は、その出自を隠し通すよう、亡くなった父からの強い戒めを受けていた。彼は生徒に慕われる良い教師だったが、出自を隠していることに悩み、また、差別の現状を体験することで心を乱しつつも、下宿先の士族出身の女性・志保（石井杏奈）との恋に心を焦がしていた。

友人の同僚教師・銀之助（矢本悠馬）の支えはあったが、学校では丑松の出自についての疑念も抱かれ始め、丑松の立場は危ういものになっていく。苦しみのなか丑松は、被差別部落出身の思想家・猪子蓮太郎（眞島秀和）に傾倒していく。

丑松は、「人間はみな等しく尊厳をもつものだ」という猪子の言葉に強い感動を覚えるが、猪子は演説後、政敵の放った暴漢に襲われる。この事件がきっかけとなり、丑松はある決意を胸に、教え子たちが待つ最後の教壇へ立とうとする。

主催 柏崎市・中越地域人権啓発ネットワーク協議会※
（※新潟地方法務局柏崎支局、柏崎人権擁護委員協議会）